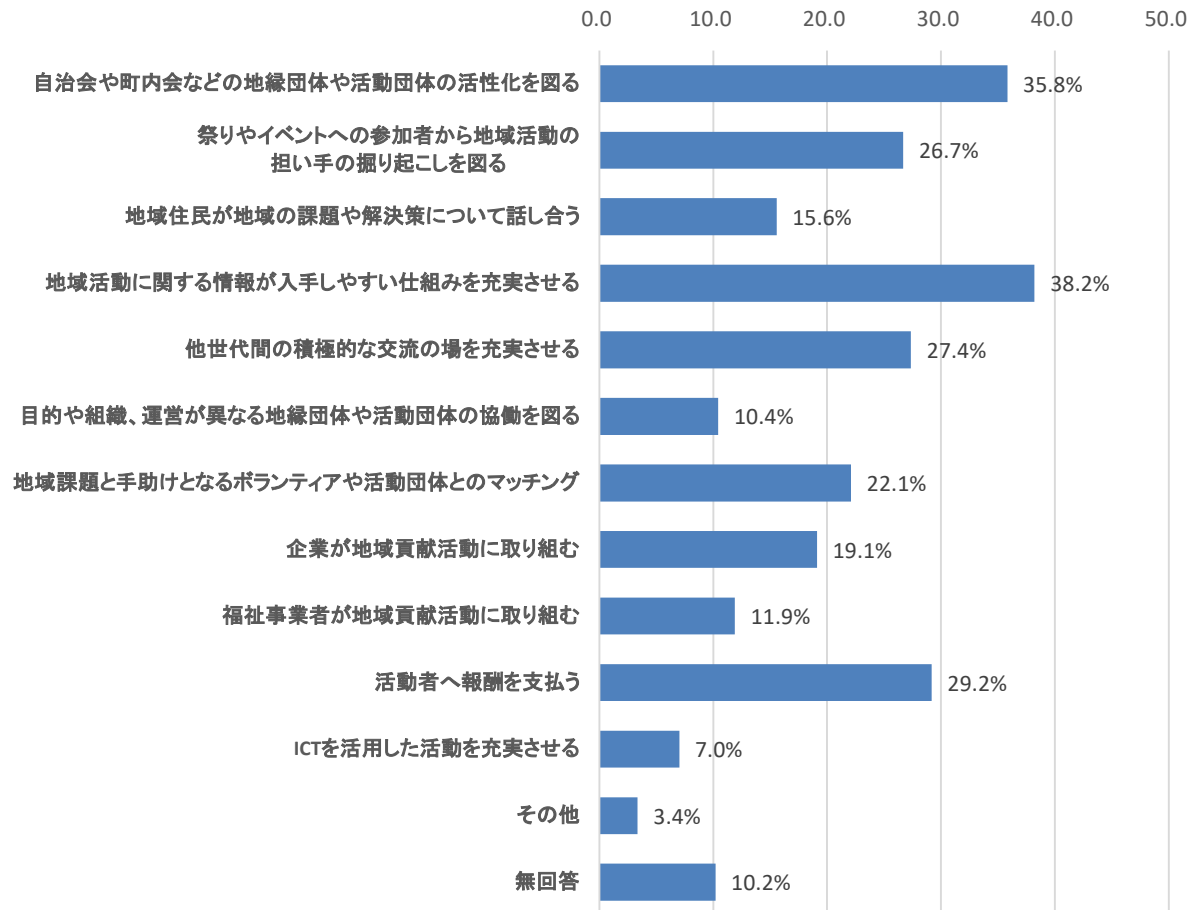


(2-14) 地域活動の活性化について ※複数回答可

どうすれば地域活動が活性化すると思うか尋ねたところ、最も多かったのは「地域活動に関する情報が入手しやすい仕組みを充実させる」の 38.2%、次いで「自治会や町内会などの地縁団体や活動団体の協働を図る」が 35.8%、「活動者へ報酬を支払う」が 29.2%であった。

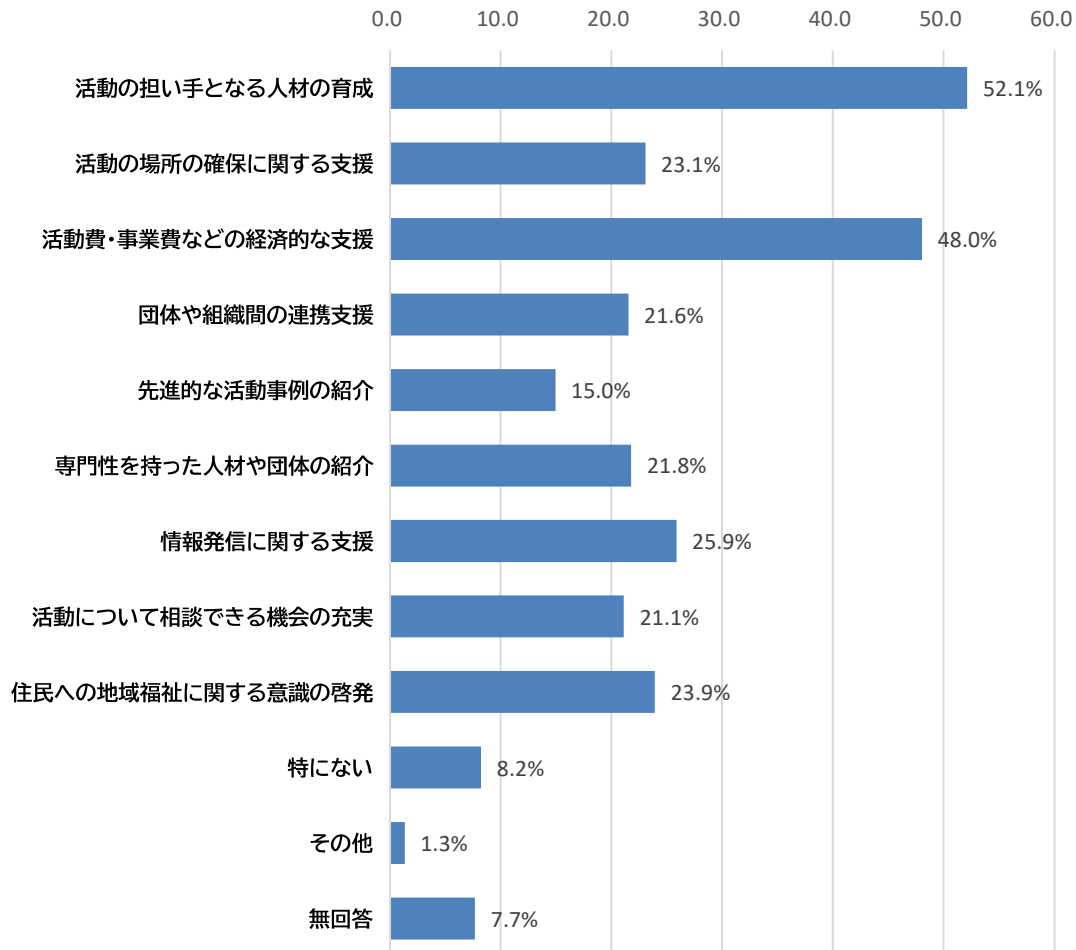
図 2-14 地域活動の活性化について



(2-15) 専門職による支援について ※複数回答可

地域活動の活性化のため専門職によるどのような支援が必要だと思うか尋ねたところ、「活動の担い手となる人材の育成」が 52.1%で最も多い結果となった。次いで「活動費・事業費などの経済的な支援」が 48.0%、次いで少し差が開き「情報発信に関する支援」25.9%となっている。

図 2-15 専門職による支援について

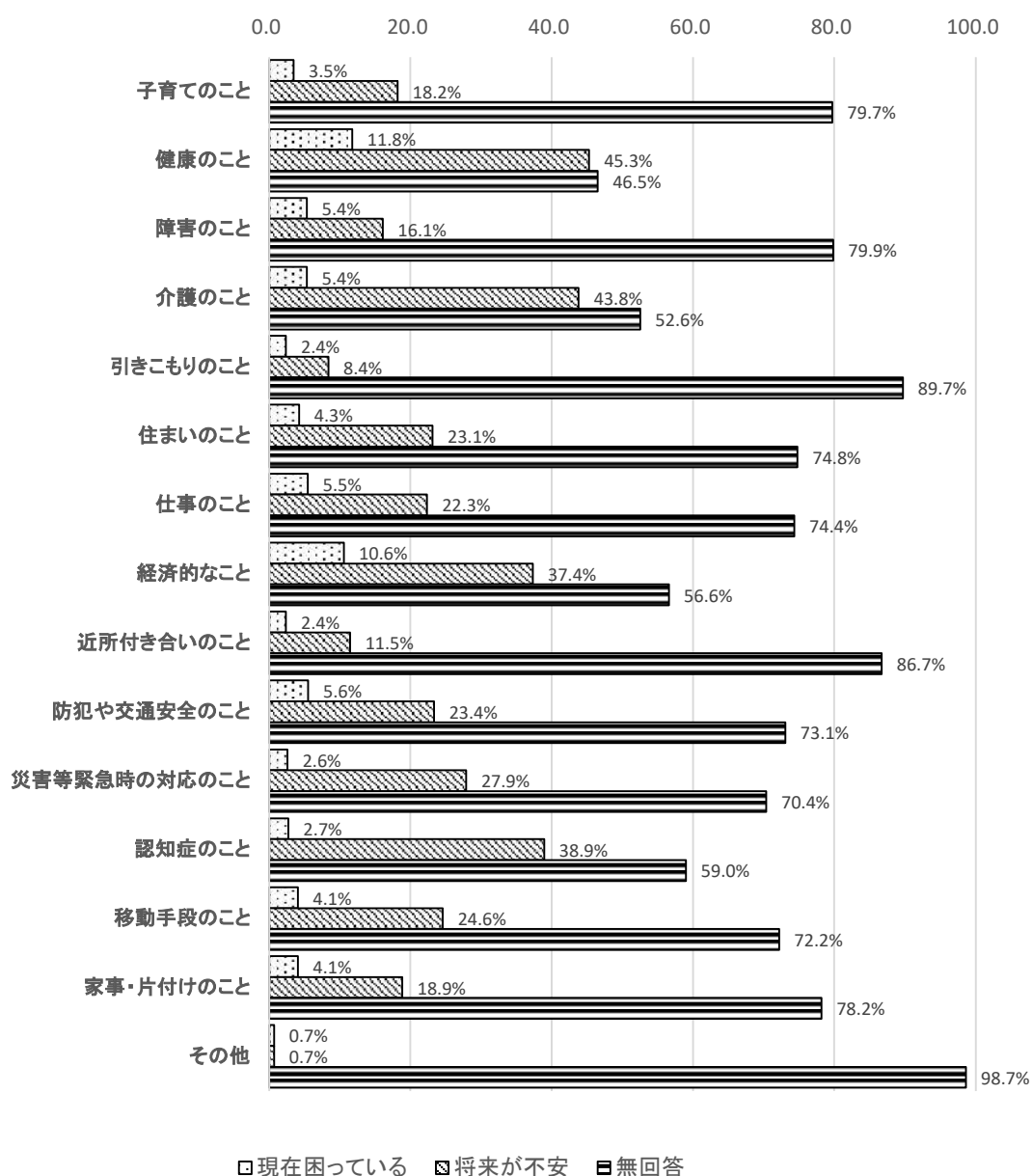


3.生活状況について

(3-16) 日々の生活で困っていることについて ※複数回答可

日々の生活の中で自身や家族のことについて困っていることを尋ねたところ、すべての項目において『無回答』が最も多くなっていることが分かる。また、すべての項目について『将来が不安』が『無回答』に次いで多い結果となった。

図 3-16 日々の生活について困っていることについて



4.福祉サービスの利用について

(4-17) 保健福祉施策の充実について ※複数回答可

北九州市の保健福祉施策について充実してきたと実感するか尋ねたところ、すべての項目において『わからない』が最も多かった。『そう思う』『どちらかといえばそう思う』が多いのは「救急医療体制」「感染症対策などの健康危機管理」「子育て支援」となっている。

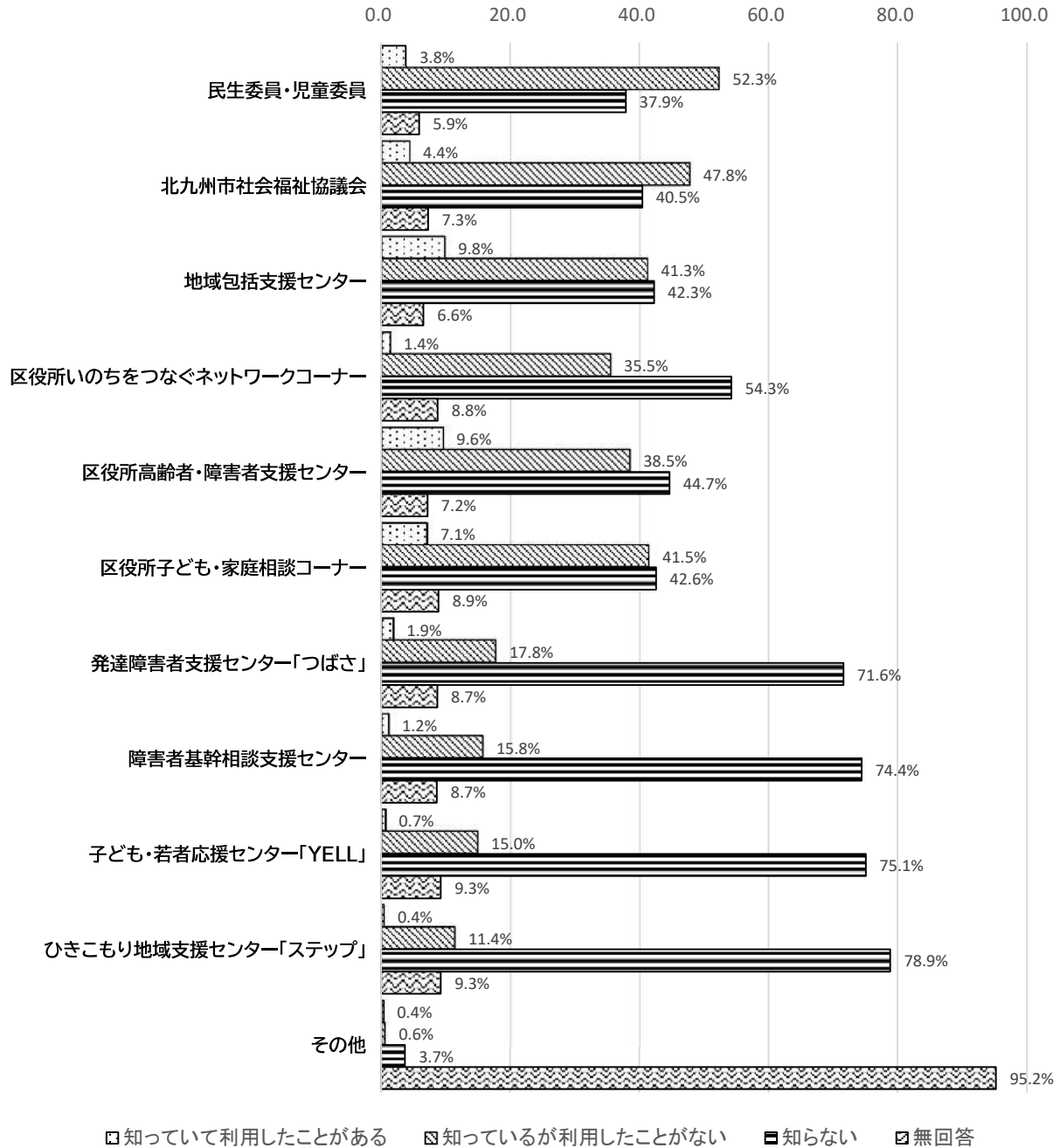
表 4-17 保健福祉施策の充実について（上段：回答数/下段：％）

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わな い	そう思わない	わからない	無回答
健康づくり・介護保険	136 8.3%	320 19.5%	327 20.0%	65 4.0%	88 5.4%	562 34.3%	142 8.7%
高齢者などへの生きがいづくり・社会参加	75 4.6%	285 17.4%	325 19.8%	88 5.4%	96 5.9%	609 37.2%	160 9.8%
認知症高齢者などへの正しい理解の普及・啓発	86 5.3%	233 14.2%	325 19.8%	120 7.3%	105 6.4%	605 36.9%	166 10.1%
ボランティアやNPOなど団体の活動支援	50 3.1%	184 11.2%	356 21.7%	78 4.8%	70 4.3%	713 43.5%	187 11.4%
地域における見守り・支え合いのネットワークづくり	75 4.6%	218 13.3%	350 21.4%	116 7.1%	106 6.5%	597 36.4%	178 10.9%
高齢者や障害のある人への相談窓口	118 7.2%	259 15.8%	305 18.6%	87 5.3%	87 5.3%	620 37.9%	162 9.9%
高齢者や障害のある人への就労支援	95 5.8%	225 13.7%	288 17.6%	93 5.7%	89 5.4%	664 40.5%	185 11.3%
高齢者の施設や在宅福祉	116 7.1%	245 15.0%	302 18.4%	97 5.9%	99 6.0%	604 36.9%	178 10.9%
福祉サービスの情報提供	98 6.0%	225 13.7%	334 20.4%	98 6.0%	97 5.9%	603 36.8%	184 11.2%
福祉サービス質の向上（福祉人材などの育成）	90 5.5%	185 11.3%	324 19.8%	85 5.2%	80 4.9%	681 41.6%	194 11.8%
生活保護などのセーフティネット	92 5.6%	163 10.0%	304 18.6%	81 4.9%	103 6.3%	709 43.3%	187 11.4%
地域医療（在宅医療など）	121 7.4%	253 15.4%	302 18.4%	71 4.3%	83 5.1%	638 38.9%	173 10.6%
救急医療体制	273 16.7%	409 25.0%	242 14.8%	56 3.4%	57 3.5%	433 26.4%	169 10.3%
地域リハビリテーション	119 7.3%	258 15.8%	295 18.0%	47 2.9%	75 4.6%	661 40.4%	185 11.3%
感染症対策などの健康危機管理	154 9.4%	373 22.8%	297 18.1%	65 4.0%	72 4.4%	498 30.4%	179 10.9%
子育て支援	149 9.1%	348 21.2%	251 15.3%	68 4.2%	89 5.4%	529 32.3%	205 12.5%
施設や道路などのバリアフリー	142 8.7%	319 19.5%	344 21.0%	131 8.0%	146 8.9%	378 23.1%	178 10.9%
虐待を受けている人への支援や相談窓口	89 5.4%	125 7.6%	279 17.0%	48 2.9%	97 5.9%	796 48.6%	204 12.5%
不登校・引きこもり状態にある人への相談窓口	73 4.5%	127 7.8%	281 17.2%	74 4.5%	81 4.9%	806 49.2%	199 12.1%

(4-18) 相談先として知っている団体・機関について

困ったときの相談先として知っている団体・機関はあるか尋ねたところ、全ての項目について、『知っていて利用したことがある』が最も少ない結果となった。「民生委員・児童委員」「北九州市社会福祉協議会」については、『知っているが利用したことがない』と回答した人が最も多かった。

図 4-18 相談先として知っている団体・機関について



(4-19) 福祉にとって必要なことについて ※複数回答可

福祉に関する各項目についてどう思うか尋ねたところ、『社会全体にとって必要と思う』が全ての項目において最も多くなっていることが分かる。中でも「NPO・ボランティア活動の充実」が60.9%、「災害時に住民同士で助け合える仕組みづくり」が59.6%、「地域福祉活動への参加」が58.4%、「地域で支える子育て支援」が58.2%と、この4項目は半数を超える割合となっていた。

図 4-19 福祉にとって必要なことについて

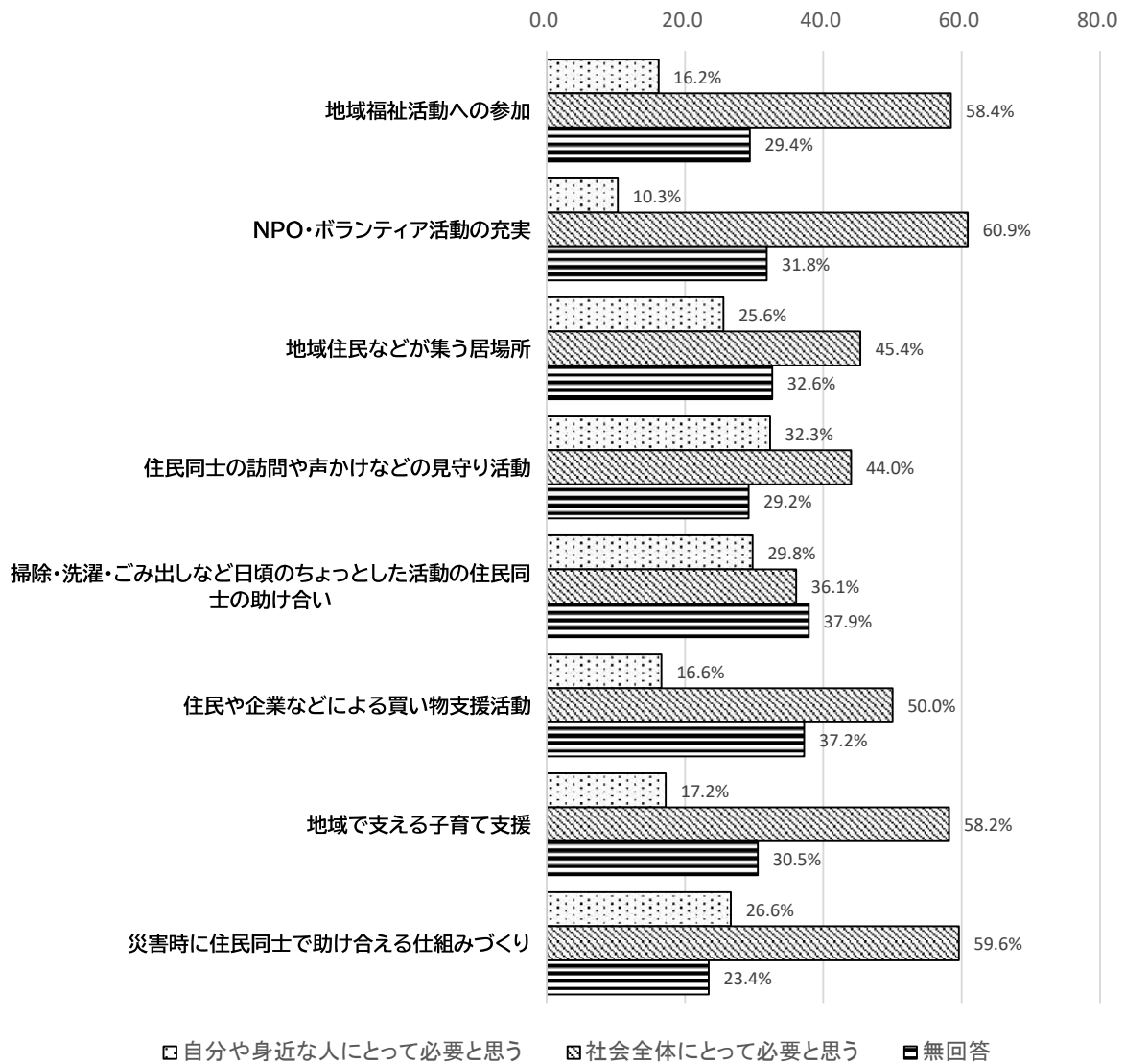


表 4-19 年齢別（上段：回答数/下段：％）

地域福祉活動への参加					
全体			と自分 てや必 要近 とな 思人 うに	必社 要会 と全 思体 うに と つ て	無 回 答
年 代	20～39歳	439	61	290	118
			13.9%	66.1%	26.9%
	40～64歳	497	74	310	135
			14.9%	62.4%	27.2%
	65歳以上	688	126	354	221
			18.3%	51.5%	32.1%
	無回答	14	4	3	7
			28.6%	21.4%	50.0%

NPO・ボランティア活動への充実					
全体			と自分 てや必 要近 とな 思人 うに	必社 要会 と全 思体 うに と つ て	無 回 答
年 代	20～39歳	439	46	272	140
			10.5%	62.0%	31.9%
	40～64歳	497	51	309	153
			10.3%	62.2%	30.8%
	65歳以上	688	71	412	219
			10.3%	59.9%	31.8%
	無回答	14	1	4	9
			7.1%	28.6%	64.3%

地域住民などが集う居場所					
全体			と自分 てや必 要近 とな 思人 うに	必社 要会 と全 思体 うに と つ て	無 回 答
年 代	20～39歳	439	93	229	144
			21.2%	52.2%	32.8%
	40～64歳	497	99	253	165
			19.9%	50.9%	33.2%
	65歳以上	688	225	259	215
			32.7%	37.6%	31.3%
	無回答	14	2	2	10
			14.3%	14.3%	71.4%

住民同士の訪問や声かけなどの見守り活動					
全体			と自分 てや必 要近 とな 思人 うに	必社 要会 と全 思体 うに と つ て	無 回 答
年 代	20～39歳	439	131	227	123
			29.8%	51.7%	28.0%
	40～64歳	497	139	250	135
			28.0%	50.3%	27.2%
	65歳以上	688	255	242	212
			37.1%	35.2%	30.8%
	無回答	14	4	2	8
			28.6%	14.3%	57.1%

掃除・洗濯など日頃の活動の住民同士の助け合い					
全体			と自分 てや必 要近 とな 思人 うに	必社 要会 と全 思体 うに と つ て	無 回 答
年代	20～39歳	439	95	165	202
			21.6%	37.6%	46.0%
	40～64歳	497	118	218	184
			23.7%	43.9%	37.0%
	65歳以上	688	272	205	226
			39.5%	29.8%	32.8%
	無回答	14	3	3	9
			21.4%	21.4%	64.3%

住民や企業などによる買い物支援活動					
全体			と自分 てや必 要近 とな 思人 うに	必社 要会 と全 思体 うに と つ て	無 回 答
年代	20～39歳	439	63	225	177
			14.4%	51.3%	40.3%
	40～64歳	497	70	279	168
			14.1%	56.1%	33.8%
	65歳以上	688	138	311	255
			20.1%	45.2%	37.1%
	無回答	14	1	4	10
			7.1%	28.6%	71.4%

地域で支える子育て支援					
全体			と自分 てや必 要近 とな 思人 うに	必社 要会 と全 思体 うに と つ て	無 回 答
年代	20～39歳	439	117	269	111
			26.7%	61.3%	25.3%
	40～64歳	497	86	308	131
			17.3%	62.0%	26.4%
	65歳以上	688	78	371	250
			11.3%	53.9%	36.3%
	無回答	14	1	5	8
			7.1%	35.7%	57.1%

災害時に住民同士で助け合える仕組みづくり					
全体			と自分 てや必 要近 とな 思人 うに	必社 要会 と全 思体 うに と つ て	無 回 答
年代	20～39歳	439	135	283	105
			30.8%	64.5%	23.9%
	40～64歳	497	111	323	104
			22.3%	65.0%	20.9%
	65歳以上	688	188	366	167
			27.3%	53.2%	24.3%
	無回答	14	2	4	8
			14.3%	28.6%	57.1%

(4-20) 見守りをしてほしい人について ※複数回答可

見守りが必要な状態となった場合どのような方に見守って欲しいと思うか尋ねたところ、最も多かったのは「家族・親族」で85.5%と9割近くの割合であった。次いで少し差が開き「仲の良い友人・知人」で34.7%、「民間サービス事業者」32.9%となった。

図 4-20 見守りをしてほしい人について

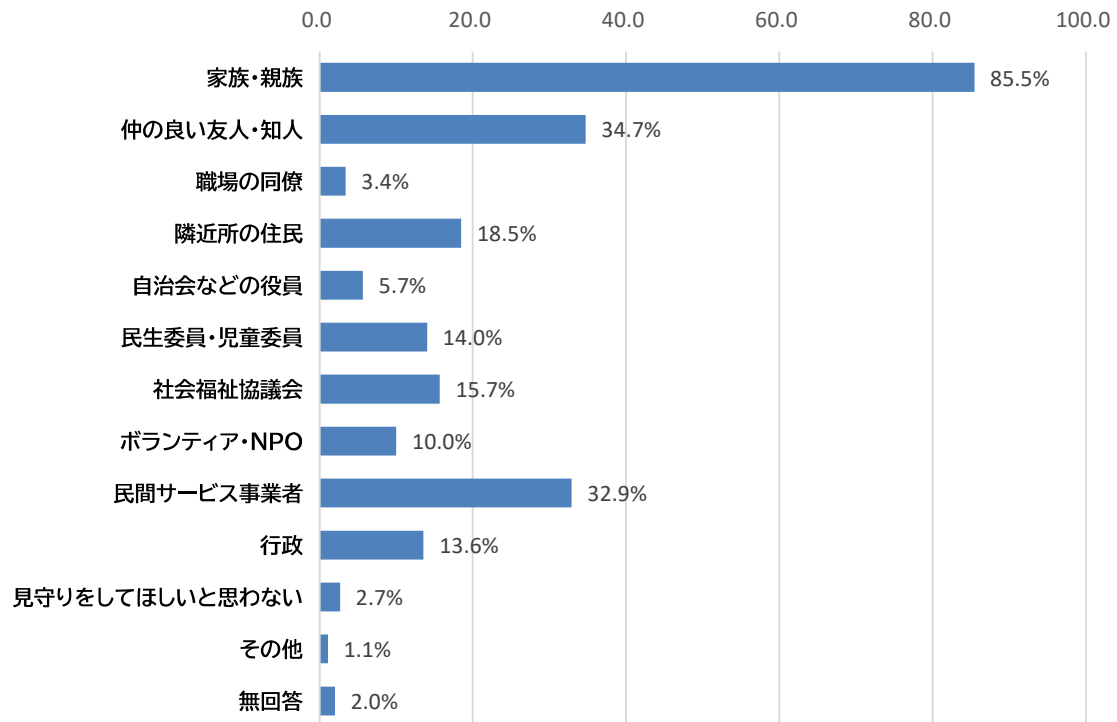


表 4-20 年齢・性別（上段：回答数/下段：％）

全体			家族・親族	仲の良い友人・知人	職場の同僚	隣近所の住民	自治会などの役員	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	ボランティア・NPO	民間サービス事業者	行政	見守りをしてほしいと思わない	その他	無回答
年 代	20～39歳	439	392	188	32	52	12	34	44	39	116	47	11	5	3
			89.3%	42.8%	7.3%	11.8%	2.7%	7.7%	10.0%	8.9%	26.4%	10.7%	2.5%	1.1%	0.7%
	40～64歳	497	426	165	16	59	27	72	85	61	172	70	18	3	5
			85.7%	33.2%	3.2%	11.9%	5.4%	14.5%	17.1%	12.3%	34.6%	14.1%	3.6%	0.6%	1.0%
	65歳以上	688	573	212	7	190	52	122	125	64	249	105	15	10	22
			83.3%	30.8%	1.0%	27.6%	7.6%	17.7%	18.2%	9.3%	36.2%	15.3%	2.2%	1.5%	3.2%
	無回答	14	9	4	1	2	2	2	3	－	2	－	－	－	3
			64.3%	28.6%	7.1%	14.3%	14.3%	14.3%	21.4%	－	14.3%	－	－	－	21.4%
	男性	666	566	196	18	113	37	96	94	59	177	90	32	9	11
			85.0%	29.4%	2.7%	17.0%	5.6%	14.4%	14.1%	8.9%	26.6%	13.5%	4.8%	1.4%	1.7%
性 別	女性	943	814	363	37	186	54	131	155	103	353	128	10	7	19
			86.3%	38.5%	3.9%	19.7%	5.7%	13.9%	16.4%	10.9%	37.4%	13.6%	1.1%	0.7%	2.0%
	選べない・ 答えたくない	12	9	3	－	2	－	－	2	1	5	4	2	1	－
			75.0%	25.0%	－	16.7%	－	－	16.7%	8.3%	41.7%	33.3%	16.7%	8.3%	－
	無回答	17	11	7	1	2	2	3	6	1	4	－	－	1	3
			64.7%	41.2%	5.9%	11.8%	11.8%	17.6%	35.3%	5.9%	23.5%	－	－	5.9%	17.6%

(4-21) 福祉サービスの情報入手先について ※複数回答可

福祉サービスに関する情報をどこから入手しているか尋ねたところ、「市政だより」が47.4%と全体の5割近くを占めていることが分かる。次いで「行政や関係団体が作成するチラシやパンフレットから」が30.6%、「インターネットのHPやSNSから」が25.2%であった。

図 4-21 福祉サービスの情報入手先について

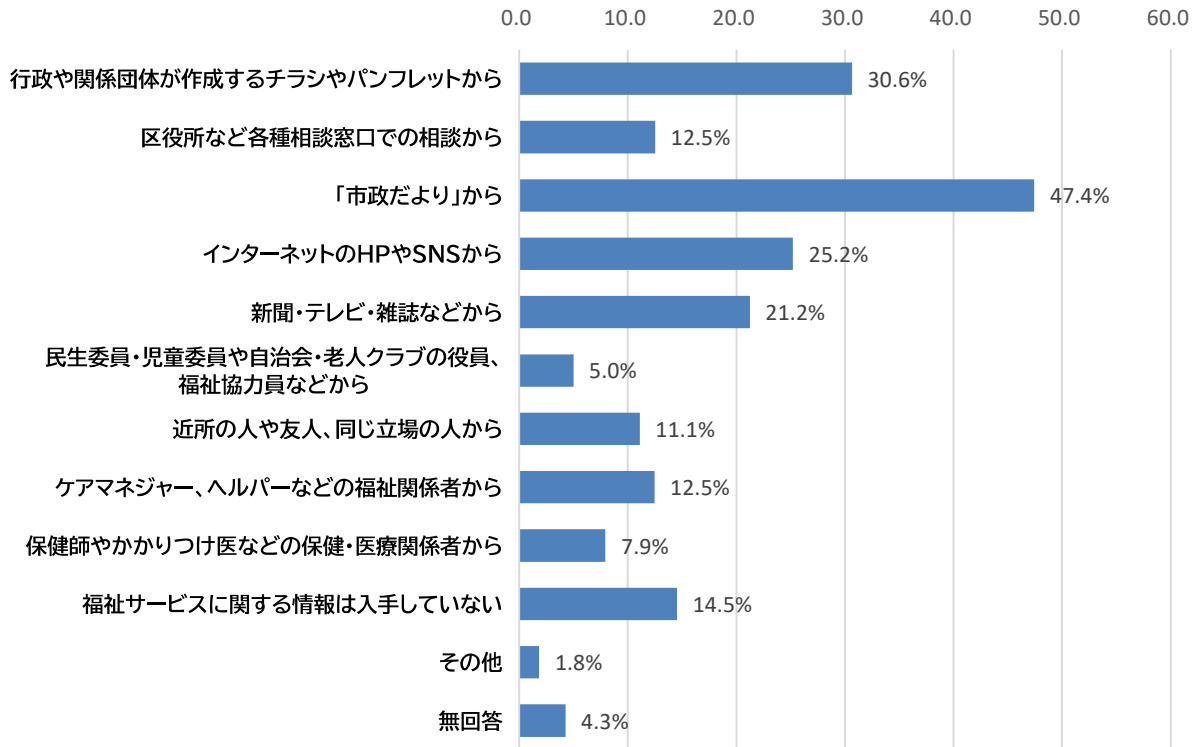


表 4-21 年齢別

全体			行政や関係団体からチラシや	の相談所など各種相談窓口で	「市政だより」から	S インターネットのHPや	から新聞・テレビ・雑誌など	会民生委員・児童委員や自治	の近所の人や友人、同じ立場	なケアマネジャー関係者、ヘルパー	の保健師やかかりつけ医など	は福祉サービスに関する情報	その他	無回答
年代	20～39歳	439	101	55	117	166	60	4	39	16	34	109	6	11
			23.0%	12.5%	26.7%	37.8%	13.7%	0.9%	8.9%	3.6%	7.7%	24.8%	1.4%	2.5%
	40～64歳	497	116	61	211	179	76	13	37	66	30	69	11	16
			23.3%	12.3%	42.5%	36.0%	15.3%	2.6%	7.4%	13.3%	6.0%	13.9%	2.2%	3.2%
	65歳以上	688	281	87	442	68	207	62	105	121	65	60	13	40
			40.8%	12.6%	64.2%	9.9%	30.1%	9.0%	15.3%	17.6%	9.4%	8.7%	1.9%	5.8%
	無回答	14	4	2	7	—	5	3	1	1	1	—	—	3
			28.6%	14.3%	50.0%	—	35.7%	21.4%	7.1%	7.1%	7.1%	—	—	21.4%

(4-22) 情報がすぐに入手できていると感じるかについて

福祉サービスについて欲しいときに欲しい情報がすぐに入手できていると感じるか尋ねたところ、「感じる」が8.4%、「どちらかといえば感じる」が33.7%、「どちらかといえば感じる」が33.7%、「感じない」が19.4%であった。

図 4-22 情報がすぐに入手できていると感じるか について

